



新型コロナウイルス感染症とインフルエンザ



大阪府の新型コロナウイルスPCR検査陽性者数

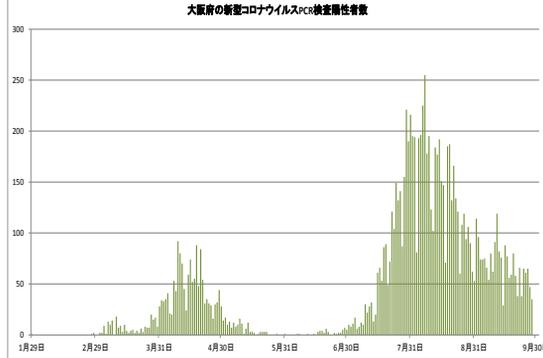


図1.大阪府の新型コロナウイルスPCR検査陽性者数の推移(2020年9月28日現在)

2020年9月28日現在、新型コロナウイルス感染症の患者数は、世界全体では3千万人を超え、死亡者数は約100万人に達しています。世界全体でみた1日当たりの患者発生数はまだ増加傾向が続いていますし、一時期患者発生数が落ち着きをみせていた西ヨーロッパの英国、フランス、スペイン等の国々はここにきて患者数の急増がみられています。日本での累積患者発生数はいつのまにか8万人を超え、大阪府も1万人を上回りましたが、流行第二波のピーク(7月下旬~8月初旬)は過ぎ、発生患者数は減少傾向となっています(図1)。しかし、まだ自粛・もしくは規制の対象となっている一部の社会・経済活動の回復やGoToキャンペーン等の影響により、10月中には再び国内の患者発生数が増加に転じてもおかしくはないと思われます。新型コロナウイルス感染症は、季節に関係なく夏期にも流行することは、既に認識されることとなったと思われますが、やはりコロナウイルスの流行に適した冬期が近づきつつあり、さらに注意が必要であると思われます。

次に、今シーズン(2020/2021年シーズン)のインフルエンザについてのお話です。日本国内での昨シーズンのインフルエンザの流行は、例年とは異なってそのピークは12月中旬であり、1月中旬以降は患者数の減少が続き、5月以降は国内のインフルエンザ患者発生数はほぼ0の状態がこれまでに続いています(図2)。昨シーズンの流行は、例年と比べて非常に小さなものとなりましたが、これは我が国だけでなく、世界中で同様の状況が起こっていて、WHOによれば、北半球の国々では3月以降、南半球の国々でも4月以降はインフルエンザの患者発生は非常に少ない状態が続いています(WHOホームページ Influenza Update N°376 : https://www.who.int/influenza/surveillance_monitoring/updates/2020_09_14_surveillance_update_376.pdf?ua=1 参照)。

従って、2020年の春以降は、新型コロナウイルス感染症が世界的な流行となっている一方で、インフルエンザは世界中で患者数が非常に少ない状態がこれまでに続いてきました。

今後国内のインフルエンザの患者発生数は、現在の状況を反映して少ないままで推移するのか、あるいは冬に向けてこれから患者数が増加していくのか、予想することは非常に困難です。しかし、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えることは重要であり、そのためにまずはインフルエンザのワクチン接種を受ける必要があると思われます。

(感染管理室 安井良則)

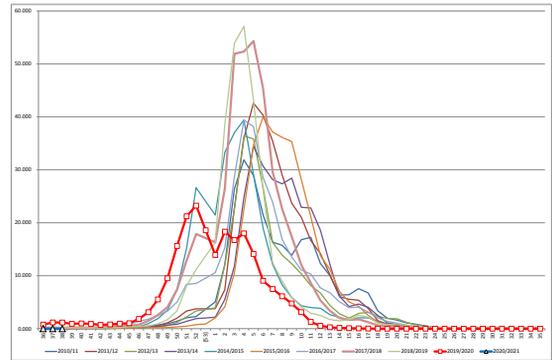


図2.インフルエンザのシーズン別定点あたり報告数の週別推移(2010/2011シーズン~2020/2021シーズン)



2020年度 ICT 秋の3大行事



看護部感染対策委員(感染リンクナース)に新しく15名が任命されました!



認定証

2020年10月16日(金)17:15~
2020年度第1回感染対策研修会を
西棟13階体育館にて開催します!

必須研修 2020年度 感染対策研修会のご案内

日本専門医機構認定共通講習

本年度も外部講師を招いての生職員を対象とした研修会を下記の通り行います。参加のご希望をお知らせください。

日時:2020年10月16日(金)17:15~18:30

場所:西棟13階 体育館 ※動きやすい服装ください

テーマ:『この冬、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にどう備えるか』

講師:大阪府立総合医療センター 感染症内科 医長 白野 倫徳 先生

対象:全職員(定員120名)

※日本専門医機構認定共通講習:受講証明書の発行を希望される医師は職日人家までお申し出ください。

講習会に専任で対応するスタッフは当日講習を聴取いたします(日本専門医機構認定共通講習には申込み不要)

主催:大阪府済生会中津病院 感染対策委員会・感染対策チーム・医務課第三使用支援チーム

2020年10月26日~10月31日まで
職員対象のインフルエンザワクチン
集団接種を行います! 接種会場
では、2020年度第2回感染対策研
修会(動画)を開催します。

